



おしゃべりかわらばん

10月8日に
児童会館で開かれた
「であいのこんさあと」で

障害のある人もない人も 心が触れ合った コンサートでした

今年で21回目となる「であいのこんさあと」。障害のある人の発表の場として、また障害を越えた心の交流の場として毎年行っています。コンサートは、詞も曲も演出も全て手作り。150人のボランティアのお手伝いで今年も大成功。



であいのこんさあと実行委員会代表
小西博さんと進藤雄一さん



初めて参加した藤田美幸さんと裕太郎くん(泉釜ノ町)

息子が保育園で手話を学び、その成果をコンサートで発表するということで参加。今まで無関心だった障害についての問題も身近に感じることができました。会場にいる人はみんな明るく元気で、なんか勇気を分けてもらった感じです。

次の大会も頑張ります

卓球は幼稚園のころから始めました。正式な試合をしたのは小学1年の時から。試合は緊張するけど調子のいいときはとっても楽しいの。12月に名古屋で開かれる全日本卓球選手権大会でも良い成績を収められるように頑張ります。



県卓球選手権初の女子4部門を制覇した大和田史さん(聖霊高2年)

相手の気持ちになって、ですね。



ボランティア功労者厚生大臣表彰を受けた片岡弘子さん(右下)、秋田市手話研究会(左の前後2人)、円グループのかたがた

福祉分野などで長くボランティア活動をしているかたがたが、このほど厚生大臣表彰を受けました。おめでとうございます。

片岡弘子さん 障害者の介助や各種福祉関係の行事に積極的に参加。ボランティア活動をしている人たちの信頼も集めています。

秋田市手話研究会 聴覚障害者のために活動を始めて24年になりました。今も週1回の学習会を開き、勉強を欠かしません。

円(まどか)グループ 手芸やお茶会などを通じて特別養護老人ホームのかたがたに喜ばれ、お年寄りの心の支えとなっています。



10月8日、児童会館で開かれた「であいのこんさあと」で

コンそのものを持っていないのでできません。少し淋しいですね(鎌田明美 38歳・寺内) 三十坪足らずのわが家の菜園で、この夏栽培したきゅうり(18株)の収穫は七百三十四本(86・4キロ)でした。市の家庭菜園講座で学んだ成果です。ありがとうございます(佐々木紀子 67歳・將軍野) 車で二週に一回の病院通いだけの暮らしなので、広報裏表紙の「秋田ノスタルジー」で昔をしのび、「季節だより」で今の空気を吸った想いで、広報を見えています(小野清治 76歳・卸町)

係からひとこと

先日届いた悲しいお知らせ。広報クイズが始まった平成八年から四年間、毎回欠かさずに応募してくださった広報ファンのおばあちゃん(佐々木)が亡くなりました。はがきには毎回、心のこもった感想がはみ出さずんばかりに書かれ、私たちはいつもうれしく思っていたものです。 「自分の言葉が活字になるなんて不思議ね。広報に名前が載るとよく電話がくるの」と、広報を隅々まで読んでクイズに応募することが生きがいであったそうです。励ましの言葉に元気づけられたことも、取材に協力してもらったこともありません。この気持ちを忘れず広報紙づくりに精進... (佐々木)

広報クイズ



秋田城跡東門のイベントで

9月22日号の当選者

前回のクイズの答えは、問1が「(2000年)国連軍縮秋田会議」、問2が「秋田八丈」でした。

全問正解160通(応募総数163通)の中から、相原良子さん(東通一丁目)、大浦五郎さん(千秋久保田町)、小林悦子さん(外旭川八幡田二丁目)、小林勝治さん(外旭川八幡田二丁目)、近藤清久さん(八橋字下八橋)、桜田まみさん(榎山登町)、佐藤サトさん(外旭川字家ノ前)、鈴木俱子さん(川尻新川町)、成田信子さん(新屋栗田町)、船越トミさん(保戸野八丁)の10人のかたに図書券をお送りします。

10月の広報クイズは最終面です。よろしく!!